

平成30年8月臨時議会 市長提案説明

この度の平成30年7月豪雨災害におきましては、かつて経験したことのない記録的な豪雨が、西日本各地に甚大な被害をもたらしました。

本市における被害状況については、8月10日現在、死者3名、負傷者7名、家屋等への被害582件、崩土等が2,672件でございます。

お亡くなりになられた方々のご冥福を心からお祈りいたしますとともに、被災された方々に対しまして、お見舞いを申し上げる次第でございます。

また、この度の災害では、県営「本郷取水場の制御機器」の水没により、7月7日午後から市内の各給水区域で断水が発生しました。

7月20日までに順次、給水を再開し、21日には全市的に復旧を確認いたしました。市民の皆様には、長期間にわたり不便な生活を送っていただかざるを得ない状況となり、深くお詫びを申し上げます。

こうした中、この度の災害に際し、自衛隊や警察、消防団のほか、関係機関や企業、ボランティア、他の自治体などから多くのご支援をいただいております。

これらの支援が被災された方々に勇気と希望を与え、復旧・復興に向けた大きな原動力となっております。改めて厚く御礼申し上げます。

また、町内会や自主防災組織の方々などによる自助・共助の取組も活発に行われ、それぞれの地域の絆を深めながら、困難を乗り越えていただきましたことにつきまして深く感謝申し上げます。

本市における豪雨災害の全容が明らかになるには、しばらく時間がかかる状況でございますが、市民の皆様の日常生活が一日も早く回復するよう、職員一丸となって、生活基盤の復旧・復興などに全力で取り組んでいるところでございます。

市民、関係者の皆様にはご不便をおかけしておりますが、引き続きご協力をお願いするものでございます。

それでは、この度提案しております一般会計の補正予算案についてでございますが、主には、豪雨災害に伴い、市民生活の回復に大きな支障となっている住居、敷地内のがれき等の撤去を迅速に行うための経費の追加をお願いしております。

また、復旧・復興に取り組む中で、不測の状況へ機動的に対応するため、予備費の追加をお願いするものでございます。

これらのほか、一般会計補正予算（第2号）など4件の「専決処分」についての報告も合わせて提案しております。

詳細につきましては担当者から説明をさせますので、よろしく御審議の上、御承認を賜りますようお願い申し上げます。

以上をもちまして市長の提案説明とします。

※本文は、口述筆記ではありませんので、表現などについて、実際の説明と若干異なることがあります。